
白青線ブルース

村雨 / 架空パンク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白青線ブルース

【Nコード】

N5559Y

【作者名】

村雨／架空パンク

【あらすじ】

静岡県東部を走る私鉄「伊豆箱根鉄道」（駿豆線）に向けて書いた詩です。三島～修善寺までの全13駅＋1個の作品で、村雨と架空パンクがおよそ半分ずつ書いています。僕らが毎日揺られる“伊豆っばこ”各駅に対する思い出を感じていただけたら、と思います。

三島ゲートウェイ（前書き）

作：架空パンク

副題『扉』

三島ゲートウェイ

開きっぱなし 鍵のない扉
入るといいさ好きにするぜ
ダラダラ往復もできるんだ

夢の街 速い街 知らない街
チラリ覗いて見てるだけ

夢が叶う予感
遠くへ行ける予感
ドキドキしちゃうぜ
鍵のない扉

開きっぱなし 鍵のない扉
とっとと入れよ安いもんだ
出入りも自由さそこの君

夢の街 速い街 知らない街
チラリ覗いて見てるだけ

夢が叶う予感
遠くへ行ける予感
ドキドキしちゃうぜ
鍵のない扉

夢の街 速い街 知らない街
チラリ覗いて見てるだけ

夢が叶う予感
遠くへ行ける予感
ドキドキしちゃうぜ
鍵のない扉

広小路ナロウアレイ（前書き）

作：架空パンク

副題『太陽の真ん中』

広小路ナロウアレイ

神様が助けてくれないの
あの娘 そうつと呟いた

朝が冷たい7時半
ラッシュアワーは見向きもしない

イヤホン ロックを歌うけど
睨みつけても 空を切る

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

生きていたくて 止まらない

神様が助けてくれないの
あの娘 そうつと呟いた

帰り道には 上手く笑って
手を振り 歩けば 溜息一つ

自転車こいでも 進みやしない
世の中そんなに 甘くない

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

生きていたくて 止まらない

10時過ぎてる 家の前
寝転び 考え なにもない

あの娘のメールを 待つてるけれど
上手く話せる柄じゃない

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

生きていたくて 止まらない

神様が助けてくれないの
あの娘 そうつと呟いた

神様が助けてくれないの
あの娘 そうつと呟いた

太陽の真ん中 昼日中
眩し過ぎたよ 立ち止まる

神様が助けてくれないの
あの娘 そうつと呟いた

エントランス三島田町（前書き）

作：村雨

副題『はじまりとおわり』

エントランス三島田町

定期どこへやっatarou?

真白い息を切らし駆ける

ブレーキ

始まる今日の摩擦

どうして忘れたのか

如何様の幸福論

何も無い道に行く

今遠くで聞こえた

僕らの始まり

閉まる憂鬱に揺られて

今日はまた走り出す

鍵はどこへやっatarou?

街灯淡く闇揺らす

エンジン

過ぎゆく今日の摩擦

寄り道

まだいいよな

買い込んだ劣等感

意味も無く歩を速く

今遠くで聞こえた

誰かの「さようなら」

開く雑音に合わせて
今日はまた終わりゆく

荷物を降ろしても
どうしてだろう
なかなか楽にならないな

今遠くで聞こえた
あなたの「また明日」
動く心臓に絡んで
今日はまた進みゆく

リバーサイド三島二日町（前書き）

作：村雨

副題『君らしく』

リバーサイド三島二日町

鳴り止まない雨のように音の無い空
それはきつと遠くまで澄んでいて
いつか僕らを濡らすことなんて
どうしても考えられないんだ

果てない想い
「君らしく」
届けに行く

人知れず流れる小川のように
どこかで生きる君よ
どうか綺麗に笑っていて
それだけ僕に叶えさせて

心の模様
そんなもの分らないけれど
君はきつと何かを求めている
どうやら僕には無いみたいだけれど
どうにか辿り着いて欲しい

いつかの望み
「僕らしく」
貰いに行く

人知れず流れる小川のように
どこかで生きる君よ

どうか綺麗に笑っていて
それだけ僕に叶えさせて

いつかくれた言葉も
今はもう遙か彼方
歩き続けたこの道も
少しずつ変わるのなら

果てない想い
「君らしく」
届けに行く

人知れず流れる小川のように
どこかで生きる君よ
どうか綺麗に笑っていて
それだけ僕に叶えさせて

ミッドナイト大場（前書き）

作：架空パンク

副題『ミッドナイト・ブギ』

ミッドナイト大場

天国なんかに行くより

地獄で生きてたほうがマシ

今夜 街中 汚ねえ店

ミッドナイト・ブギは自由の音

パラ パ パ 踊る 三日月とヘッドライト

寝付いたりしたら後悔するぜ

ダン ダ リラ 街灯とテールライト

立ち止まったらおいてくぜ

一番素敵な感情は

欲望なんだ きつとそうだ

今夜 路地裏 危ないライン

ミッドナイト・ブギは自由の音

未来に残るのは死んだ名前だけ

誰も髪の毛一本残らねえ

今夜 交差点 衝突事故

ミッドナイト・ブギは自由の音

パラ パ パ 踊る 三日月とヘッドライト

寝付いたりしたら後悔するぜ

ダン ダ リラ 街灯とテールライト

立ち止まったらおいてくぜ

伊豆仁田パーリナイ（前書き）

作：村雨

副題『回るディスクと夜の舞』

伊豆仁田パーリナイ

足枷切つてため息ひとつ
少し歩いてもう一步
ふわふわ
ふわふわと行く

辿り着いて楽しみひとつ
今始まるよ夜中の宴
がやがや
がやがやと舞う

鳴らす下手くそブルースハープ
君に届けよまっすぐに

ちよつと待つて
まだ終わりたくないんだ
火照る頬もう少しだけ
過ぎないでよ

気付いてみたよ小さなひとつ
手に入れた代わりのディスク
くるくる
くるくると回る

揺らす後ろのひとつ結び
君は歩くよまっすぐに

ちよつと待つて

まだ終わりたくないんだ

火照る頬もう少しだけ

過ぎないでよ

ほんのささいなことでもいいんだ

笑顔ひとつ

もうひとつ

本当のひとつだけ

ちよつと待つて

まだ終わりたくないんだ

火照る頬もう少しだけ

過ぎないでよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5559y/>

白青線ブルース

2011年11月21日09時46分発行